

プロジェクト報告書

団体名 SAJ (ステップファミリー・アソシエーション・オブ・ジャパン)

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

～私たちの家族の絆～ 幸せな子連れ再婚家庭になろう！

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

現在、結婚する4組に1組は再婚家庭と言われます。離婚の若年化や増加に伴って今日の多様化する家族形態において象徴ともなりうる【ステップファミリー】(以下 SF) しかし、未だ都心でも SF である事を公表したり、それを前提として家族の交流ができにくい状況にあり、教育機関・行政にも専門窓口は無く、SF 特有の問題で悩みを抱える人達が多数存在する。「家族の再生」と血縁を超えた家族の絆を構築する。交流キャンプを通して縁あって再び家族となりえたステップファミリー家庭同志の出会い・仲間作りをすることにより、相互支援の場づくりや SF のエンパワメントに繋がっていくことを目指す。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

交流キャンプでは、家族で参加しやすいように青空の下で開催。子供達と大人達に別れ、それぞれの交流を計る。感受性の強い子供達には死別や離別を経験している子供が自分だけではない事を身近に感じてほしい。大人は当事者悩み・不安・喜びなどを体験発表してもらおう。同じ立場同士共感同意。子供はスポーツレクで遊び、大人はバーベキュー準備。食事やゲームレクを通して当事者のネットワーク作りはかる。講演会では、シングル家庭や当事者・当事者の親族や支援援助機関に対して、ステップファミリーについての基礎知識や効果的な支援方法をセミナー形式で講演。ステップファミリーは必然的に子供が多くなりやすいので託児も受け付ける。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

ステップファミリー(子連れ再婚家庭)が認知され、支援を受けやすい社会を拡大していくために、まずは当事者が知識を深め、発信していく必要があると考えた。大人だけではなく、交流会では、同じ立場の者同士の共感が生まれました。社会学や心理学を学ぶ学生ボランティアの協力があつたので小さい子ども達も安心して参加していた。講演会では当事者が専門家とともにパネリストとして質問に答えました。実際、当事者が前に出るという機会があまりなく、行政関係者、司法関係者の方々にも非常関心を持ってもらえたのが大きな反響でした。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

参加者は子育て世代が非常に多かった。実際、子育てに関わっている人たちが参加し、学べる機会を提供出来て非常に有難かった。助成金のおかげで託児など、参加者が参加しやすい環境が提供出来ました。本当に有難うございます。また講師を招いての当事者とのパネルディスカッションは、当事者のみならず、参加者からも非常に勉強になったとの声を多数いただいた。知ってもらおう努力をこれからも続けていきたいと思ひます。

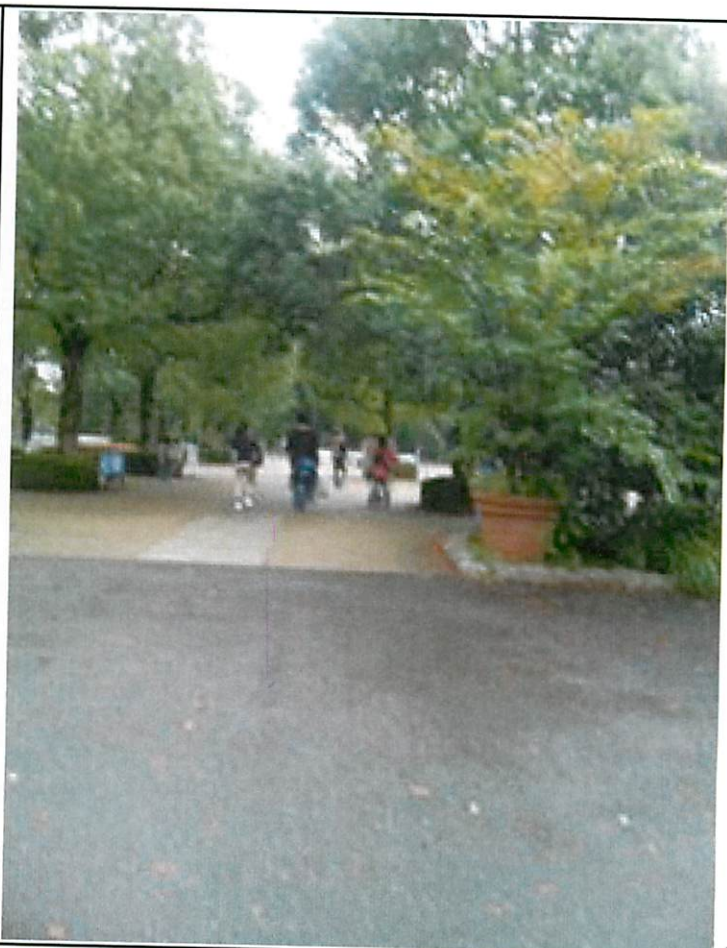
6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり 特になし



ステップファミリー交流BBQ



ステップファミリーについての講演会
「専門家の講演」



「ステップファミリーに当事者の礼儀教育」